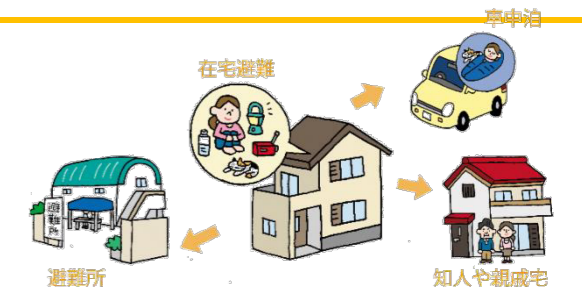


朝来市の避難行動等について（お知らせ）

毎年、全国各地で地震や大雨等の自然災害が頻発し、多くの被害が発生しています。これから梅雨に入り、豪雨等による災害が発生しやすい時期となります。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況下で、自然災害と感染症との複合災害への対策を万全に期することが重要となってきます。感染防止を行いながら、自然災害から身を守るために必要な行動について、お示ししますので事前の準備をお願いします。

■ 避難する方法を考えましょう

以下に、避難する方法の事例を記載しています。ご自分やご家族にとって、最良の方法を考えてください。



① 在宅避難（自宅での避難）を考えましょう。

ご自宅の場所を市のハザードマップ等で確認し、安全が確保される人は、自宅での避難を考えましょう。洪水の場合は上の階へ（垂直避難）、土砂災害の場合は斜面と反対側の部屋へ移動するだけでも被災リスクは大幅に軽減されます。ハザードマップは、すでに各家庭に配布していますが、QRコードから朝来市ホームページでご覧いただくこともできます。



斜面と反対側の部屋へ避難しましょう！



② 知人や親戚の家などへの避難を考えましょう。（縁故避難）

ご自宅での避難が困難な場合は、安全な場所にある親戚や知人宅などに避難することを考えてください。また、近所の安全な場所に空き家や施設等がある場合は、予め所有者の了解を得て避難することも考えてください。避難の際には、事前に検温や自覚症状（頭痛、咳など）の有無を確認し、避難先の感染防止に努めてください。

「ひょうご防災ネット」にご登録いただくと、兵庫県及び朝来市から避難に関する情報などの緊急情報や防災に関する様々な情報が提供されます。

QRコードを読み取ってダウンロードできます

Androidはこちら

iPhoneはこちら

ひなん「避難」って何すればいいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない（入っていると…）
 流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります
 地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります
- ② 浸水深より居室は高い
 5m～10m未満（3階床上浸水～4階軒下浸水）
 3m～5m未満（2階床上～軒下浸水）
 0.5m～3m未満（1階床上～軒下浸水）
 0.5m未満（1階床下浸水）
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分（十分じゃないと…）
 水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間（浸水継続時間）はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

③ 自動車での避難も考えてください。(車中泊避難)

自家用車を所有されている人は、安全な場所に移動して車中泊も考えてください。ただし、エコノミークラス症候群を予防するため、定期的な手足の運動や適切な水分摂取などの予防対策を行ってください。車中泊避難の場所(駐車場所)は、安全な高台や拠点避難所の駐車場などをご利用ください。移動中の事故防止のため早めの避難開始をお願いします。



④ 拠点避難所へ避難しましょう。

在宅や縁故避難などができない人は、市が設置する拠点避難所に避難してください。拠点避難所は、災害の発生する可能性が高く、避難をする必要がある場合に、市が学校の体育館等を避難所として開設・運営するものです。

◎ 拠点避難所……………15ヶ所

- ・生野地域 奥銀谷体育館、生野小学校体育館、栃原体育館
- ・和田山地域 糸井小学校体育館、大蔵小学校体育館、東河小学校体育館
和田山中学校体育館、枚田小学校体育館、竹田小学校体育館
- ・山東地域 粟鹿体育館、梁瀬中学校体育館、旧与布土小学校体育館
- ・朝来地域 朝来体育館*、朝来中学校体育館、山口小学校体育館

※拠点避難所及び二次避難所に指定している中川小学校体育館については、改修工事のため、令和4年9月16日まで使用できません。代替避難所として、朝来体育館をご利用ください。

⑤ 避難場所への連絡

在宅避難・縁故避難や車中泊避難、拠点避難所へ避難される場合は、ご自身の避難場所について区役員さん等にご連絡の上避難してください。

⑥ 一次避難所(指定緊急避難場所)の開設

公民館等の一次避難所については、高齢者や要援護者の方など、拠点避難所への避難が難しい方々のために、感染症対策を講じた上で一次避難所として開設してください。避難を必要とする一般の方は、拠点避難所への避難をお願いします。

いざというときに、慌てなくて済むように、普段から災害に備え非常用品の準備と使用・保存期限などの確認をおきましょう！
また、ご自身で安全な避難場所、避難経路の確認をおきましょう！！



ひなんしじ
警戒レベル 4 避難指示で必ず避難

避難情報の種類と取るべき行動 「警戒レベル3」や「警戒レベル4」で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	状況	住民がとるべき行動
高	5 緊急安全確保 (朝来市発令)	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！
警戒レベル4までに必ず避難！			
危険度	4 避難指示 (朝来市発令)	災害のおそれ 高い	危険な場所から 全員避難
	3 高齢者等避難 (朝来市発令)	災害のおそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難
	2 大雨・洪水注意報 (気象庁発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
	低 1 早期注意情報 (気象庁発表)	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル4避難指示で必ず避難をしてください！

警戒レベル4は、避難に必要な時間等を考慮して発令されます。
警戒レベル4避難指示発令のタイミングで、危険な場所から全員避難しましょう。

高齢者や障害のある人、避難を支援する人は**警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難**しましょう。

※警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

